

# 福島第一原子力発電所 1号機使用済燃料取り出しに向けた 大型カバー設置工事（アンカー削孔作業）の開始について

< 参 考 資 料 >  
2022年4月13日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 1号機原子炉建屋においては、今後予定されているオペレーティングフロア上のガレキ等撤去作業に向けて、ダスト飛散対策の信頼性向上および原子炉建屋内への雨水流入抑制等を目的に、建屋を覆う大型カバーを設置し、同カバー内でガレキ等撤去作業を実施する計画としています。
- 大型カバーの設置にあたっては、原子炉建屋に大型カバーを直接支持する工法を採用予定であり、これまで準備工事として、原子炉建屋の外壁面調査等を進めています。
- 原子炉建屋外壁面のうち、西・北・東面について調査が完了し、当該3面について、大型カバーを設置しても問題がないこと、および4月12日に工事の準備が整いました。  
<以上、2022年4月12日までにお知らせ済み>
- 本日（4月13日）午前9時40分から、大型カバー設置工事として、原子炉建屋にアンカー※1を設置するための孔あけ作業を開始しました。
- なお、作業実施にあたっては、作業員の被ばくリスクを低減する観点から、遠隔操作型のアンカー削孔装置を用いるとともに、同装置に付属している吸引装置でダストを吸引しながら慎重に作業を進めております。また、作業中は、構内ダストモニタでダスト濃度を適切に監視しており、同モニタに有意な変動がないことを確認しています。
- 引き続き、風雨等の天候の状況も確認しながら、安全を最優先に作業を進めてまいります。

※1 アンカー：大型カバーの荷重を支持する部材の一つで鋼製のボルト（長さ約30～45cm、直径約3cm）。  
原子炉建屋に深さ約30～45cmの孔を設け、孔にアンカーを設置し、セメント系材料を注入し固定する。

## 【参考】現場の状況

※写真撮影日はいずれも2022年4月13日



写真1.1号機原子炉建屋の状況（俯瞰）



写真2.アンカー削孔装置の設置状況（俯瞰）

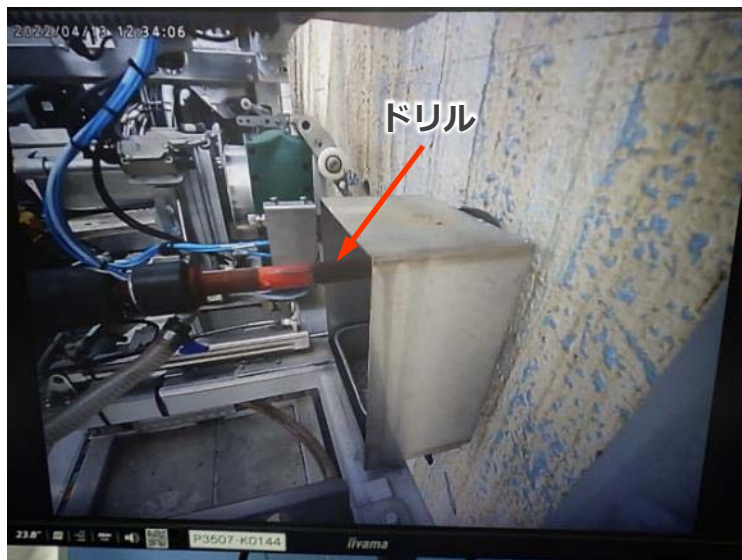


写真3.アンカー削孔作業中の状況

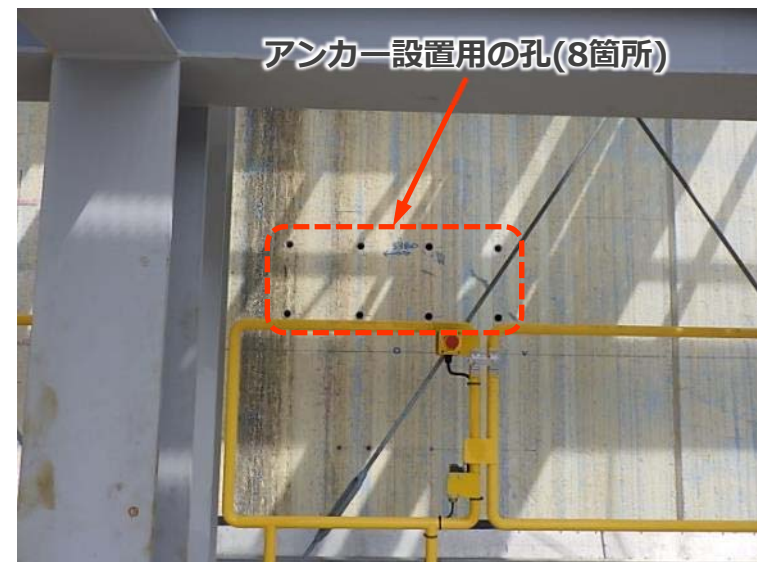


写真4.アンカー削孔作業後の状況